

## 第12期

# 運用報告書(全体版)

## 新興国国債オープン (1年決算型) (愛称 アトラス(1年決算型))

【2019年8月13日決算】

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「新興国国債オープン(1年決算型)(愛称 アトラス(1年決算型))」は、2019年8月13日に第12期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ  
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2007年8月30日から、原則として無期限です。	
運用方針	新興国国債マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)の受益証券への投資を通じて、主としてJPMorgan社のGBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット)ブロード・ディバシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等(以下、「新興国の国債等」といいます。)に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、投資環境の急変が起きた場合等には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	新興国国債マザーファンド	新興国の国債等を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	新興国国債マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年8月12日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 委託会社が、分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ分配金額を決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース)		債 券 組入比率	債 券 先物比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金 期 騰	中 率 落 率	(参考指数)			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
8期(2015年8月12日)	9,356	100	△ 0.5	241.531	5.4	97.6	—	77
9期(2016年8月12日)	7,952	100	△13.9	214.672	△11.1	88.7	—	53
10期(2017年8月14日)	9,062	100	15.2	243.447	13.4	82.0	—	179
11期(2018年8月13日)	8,388	100	△ 6.3	234.055	△ 3.9	82.0	—	496
12期(2019年8月13日)	8,796	100	6.1	244.435	4.4	88.2	—	520

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は、当該日前営業日のデータです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース)		債 券 組入比率	債 券 先物比率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2018年8月13日	円	%	ポイント	%	%	%
	8,388	—	234.055	—	82.0	—
8月末	8,257	△ 1.6	229.971	△1.7	91.9	—
9月末	8,605	2.6	238.445	1.9	95.2	—
10月末	8,608	2.6	234.697	0.3	80.6	—
11月末	8,867	5.7	243.325	4.0	94.6	—
12月末	8,698	3.7	238.699	2.0	90.6	—
2019年1月末	8,887	5.9	244.961	4.7	91.3	—
2月末	9,054	7.9	249.788	6.7	95.3	—
3月末	8,954	6.7	246.346	5.3	89.9	—
4月末	8,980	7.1	247.725	5.8	92.3	—
5月末	8,777	4.6	244.971	4.7	95.6	—
6月末	9,115	8.7	251.640	7.5	95.3	—
7月末	9,316	11.1	256.714	9.7	82.5	—
(期末) 2019年8月13日	8,896	6.1	244.435	4.4	88.2	—

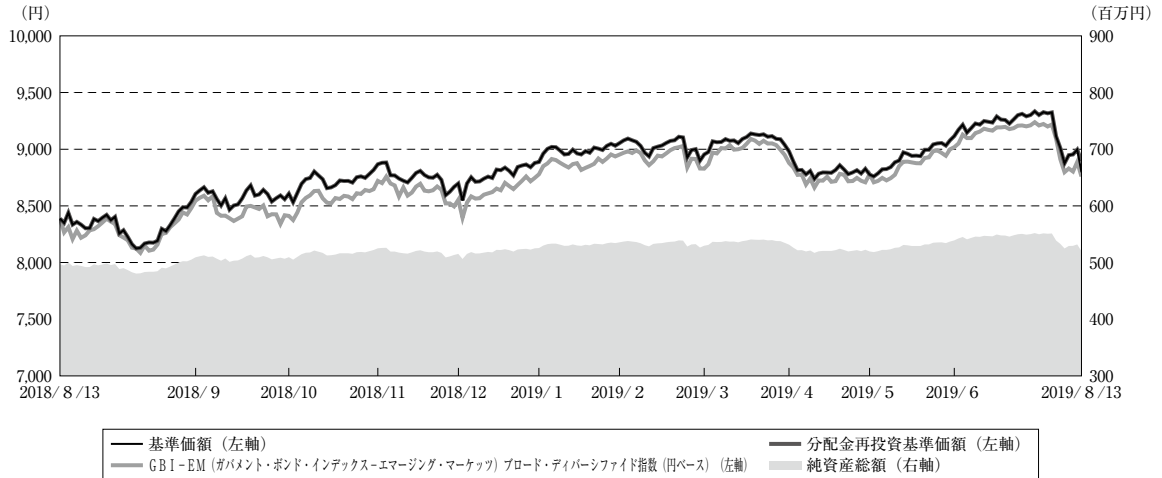
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は、J.P. Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P. Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2018年8月14日～2019年8月13日）



期首：8,388円

期末：8,796円（既払分配金（税引前）：100円）

騰落率：6.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2018年8月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「新興国国債マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### （主なプラス要因）

- ・現地通貨建て新興国国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。また、ブラジルやトルコなど多くの投資国において、保有債券の利回りが低下し価格が上昇したこと。
- ・トルコリラが対円で上昇したこと。

#### （主なマイナス要因）

- ・ポーランドズロチや南アフリカランドなど投資しているほとんどの通貨が対円で下落したこと。

**投資環境**

（2018年8月14日～2019年8月13日）

**<新興国の国債市場>**

米国の長期債利回りの上昇等を背景に、新興国からの投資資金の流出懸念が高まり、多くの投資国で国債利回りが上昇（価格は下落）してスタートしました。しかし、グローバル経済の減速懸念が徐々に強まったことに加え、米中の貿易摩擦の激化等を背景に、米連邦準備制度理事会（F R B）が利下げに踏み切るなど、先進国の主要銀行の金融緩和姿勢が鮮明となったことを受けて、先進国の国債利回り低下とともに新興国の国債利回りが大幅に低下（価格は上昇）する展開となりました。また、多くの新興国において利下げが実施されたことも、新興国の国債利回り低下を後押しする要因となりました。

**<為替市場>**

新興国通貨は、F R Bなど先進国の主要中央銀行の金融政策、米中の通商協議の動向、世界的な株価動向、新興国各国の個別リスク等を睨んで、対円で方向感なく上下する展開が続きました。しかし、期末にかけては、米中の貿易摩擦の激化や中国人民元が対ドルで11年ぶりの安値をつけたことなどを受けて、新興国からの投資資金の流出懸念が高まり、新興国通貨が対円で急落しました。この結果、当期間において、投資していた11通貨のうち、南アフリカランドなど9通貨が対円で下落する一方、トルコリラが対円で上昇、ロシアルーブルは対円で変わらずとなりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

（2018年8月14日～2019年8月13日）

**<新興国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））>**

「新興国債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

**○新興国債マザーファンド**

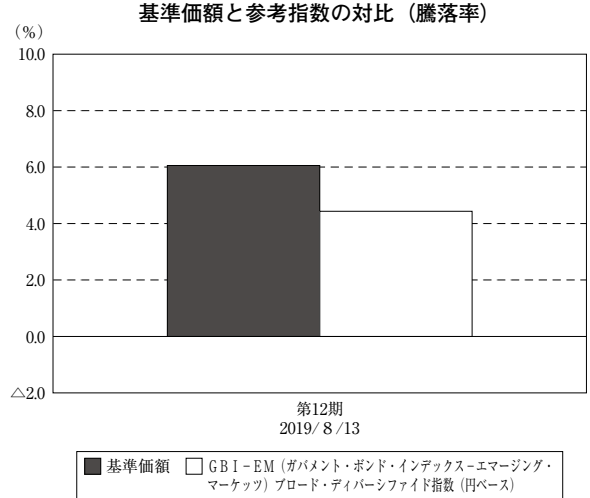
J Pモルガン社のG B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（G D P）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国及び投資通貨を選定しました。当期間においては、中国国債を新規に組み入れるとともに、11ヵ国、11通貨（日本及び円は除いています）に投資を行いました（インドへの投資はクレジット・リンク・ノート（C L N）\*を通じて行いました）。当期間における新興国の国債及び通貨の組入れは、投資環境に応じて、機動的に変化させました。具体的には、2018年10月末から11月初めと2019年8月上旬に、新興国債の投資比率を一時的に80%前後に引き下げました。また、2019年5月末から6月上旬にかけては、メキシコペソに対する為替ヘッジを行いました。この結果、期末時点の外貨の投資比率は90.2%、投資国上位は、メキシコ、インドネシア、ブラジル、ロシアとなっています。前期末との比較では、中国、ロシアなどの投資比率が上昇する一方、インド、南アフリカなどの投資比率が低下しました。また、ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、期末時点で4.00年となり、前期末と比較し長期化となりました。

\*クレジット・リンク・ノート（C L N）は、現地通貨建ての新興国債または新興国の政府機関債にパフォーマンスが概ね連動する債券です。クレジット・リンク・ノート（C L N）は、米ドル建てで発行されていますが、ファンドに与える実質的な影響を考慮し、連動先債券の国および通貨の情報に基づいて前述の分類を行っています。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年8月14日～2019年8月13日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJPモルガン社の「GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数（円ベース）」の騰落率を1.7%上回りました。



- (注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。  
 (注) 参考指数は、GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数（円ベース）です。

## 分配金

（2018年8月14日～2019年8月13日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当期間におきましては、1万口当たり100円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第12期
	2018年8月14日～ 2019年8月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	100 1.124%
当期の収益	100
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	6,703

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### （投資環境の見直し）

先進国の国債市場では、グローバル経済の減速基調が続く中、米中の貿易摩擦の長期化が懸念されることや、主要中央銀行が金融緩和姿勢を鮮明にしていることから、低金利環境が継続する展開を想定しています。このため、新興国の国債市場には、今後も先進国国債と比較し相対的に高い利回りを求める投資資金が流入しやすいと見ています。また、多くの新興国においては、インフレ率が総じて抑制される中で、中央銀行が金融緩和姿勢に転じていることから、引き続き中長期的な利回り低下余地が残ると判断しています。

為替市場では、米中の貿易摩擦や中国人民元安に対する警戒感等を背景に、今後も新興国通貨が対円で軟調に推移する場面があると見ています。一方、先進国の主要中央銀行が金融緩和姿勢を鮮明にしていることや、先進国における国債利回りの大幅低下を受けて、新興国国債の利回り面での投資妙味が高まっていることは、引き続き新興国通貨のサポート要因になると考えています。また、トランプ米大統領がドル高に対する強い不満を重ねて表明しており、米政権が具体的なドル安戦略を講じた場合には、中国人民元の対ドルでの反発等を通じて、新興国通貨の上昇につながる可能性があると考えています。

### （運用方針）

#### <新興国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））>

主要投資対象である「新興国債マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

#### ○新興国債マザーファンド

新興国の国債及び通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2018年8月14日～2019年8月13日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	124 ( 59 ) ( 57 ) ( 8 )	1.404 (0.670) (0.648) (0.086)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 1 ) ( そ の 他 2 )	13 ( 6 ) ( 1 ) ( 0 ) ( 6 )	0.145 (0.065) (0.013) (0.001) (0.067)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他1は、中国の債券取引に係る費用 その他2は、クレジット・リンク・ノートの発行体に関する年間手数料等
合 計	137	1.549	
期中の平均基準価額は、8,843円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

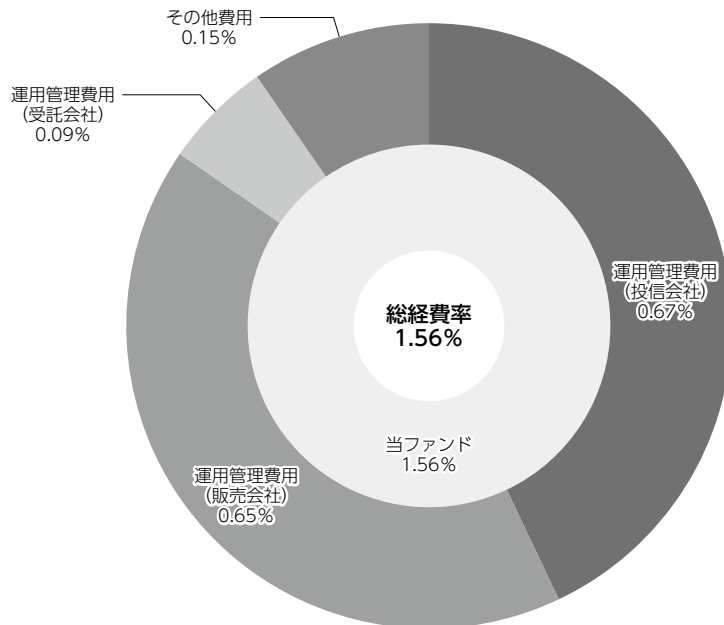
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.56%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

（2018年8月14日～2019年8月13日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新興国債マザーファンド	千口 4,839	千円 5,700	千口 17,048	千円 19,900

（注）単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

（2018年8月14日～2019年8月13日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

（2019年8月13日現在）

### 親投資信託残高

銘柄	期 首(前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
新興国債マザーファンド	千口 453,637	千口 441,429	千口 441,429	千円 517,620

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

（2019年8月13日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
新興国債マザーファンド	千円 517,620	% 97.7
コール・ローン等、その他	12,177	2.3
投資信託財産総額	529,797	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）新興国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（5,446,331千円）の投資信託財産総額（6,781,966千円）に対する比率は80.3%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝105.43円、1メキシコペソ＝5.38円、1ブラジルレアル＝26.45円、1ペルーソル＝31.16円、1トルコリラ＝18.97円、1ポーランドズロチ＝27.29円、1ロシアルーブル＝1.61円、1マレーシアリンギット＝25.14円、1インドネシアルピア＝0.0074円、1南アフリカランド＝6.90円、1オフショア元＝14.85円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年8月13日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	529,797,168
コール・ローン等	12,176,939
新興国債マザーファンド(評価額)	517,620,229
(B) 負債	9,666,123
未払収益分配金	5,913,493
未払信託報酬	3,718,342
未払利息	9
その他未払費用	34,279
(C) 純資産総額(A－B)	520,131,045
元本	591,349,382
次期繰越損益金	△ 71,218,337
(D) 受益権総口数	591,349,382口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,796円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は71,218,337円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.8796円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は592,373,966円、期中追加設定元本額は1,908,793円、期中一部解約元本額は2,933,377円です。

○損益の状況（2018年8月14日～2019年8月13日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,427
受取利息	21
支払利息	△ 2,448
(B) 有価証券売買損益	37,350,167
売買益	37,448,501
売買損	△ 98,334
(C) 信託報酬等	△ 7,399,101
(D) 当期損益金(A+B+C)	29,948,639
(E) 前期繰越損益金	△ 48,866,666
(F) 追加信託差損益金	△ 46,386,817
(配当等相当額)	( 342,339,468)
(売買損益相当額)	(△388,726,285)
(G) 計(D+E+F)	△ 65,304,844
(H) 収益分配金	△ 5,913,493
次期繰越損益金(G+H)	△ 71,218,337
追加信託差損益金	△ 46,386,817
(配当等相当額)	( 342,344,078)
(売買損益相当額)	(△388,730,895)
分配準備積立金	54,067,198
繰越損益金	△ 78,898,718

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第12期
(a) 配当等収益(費用控除後)	28,747,824円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	342,344,078円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	31,232,867円
分配対象収益(a+b+c+d)	402,324,769円
分配対象収益(1万口当たり)	6,803円
分配金額	5,913,493円
分配金額(1万口当たり)	100円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	100円
支払開始日	2019年8月19日(月)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

＜お知らせ＞

・金融商品取引業等に関する内閣府令等の改正に伴い信用リスクを適正に管理するために投資信託約款に所要の整備を行うとともに、本文の一部の参照条項について所要の変更を行いました。(実施日:2019年5月9日)

### 用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
<b>1(万)口当たり基準価額</b>	1(万)口当たりのファンドの時価です。

### 用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

## 新興国債マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

# 新興国債マザーファンド 第12期 運用状況のご報告 決算日：2019年8月13日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてJPモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	新興国の国債等を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）		債券組入率	債券先物率	純資産額
	円	騰落率	（参考指数）	騰落率			
8期(2015年8月12日)	11,346	0.9%	ポイント 241.531	5.4%	97.4%	—	百万円 15,329
9期(2016年8月12日)	9,894	△12.8	214.672	△11.1	89.2	—	9,388
10期(2017年8月14日)	11,509	16.3	243.447	13.4	82.5	—	8,774
11期(2018年8月13日)	10,898	△5.3	234.055	△3.9	82.4	—	7,091
12期(2019年8月13日)	11,726	7.6	244.435	4.4	88.6	—	6,251

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、当該日前営業日のデータです。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース)		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率 比
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期 首) 2018年8月13日	円 10,898	% —	ポイント 234.055	% —	% 82.4	% —
8月末	10,735	△ 1.5	229.971	△ 1.7	92.3	—
9月末	11,201	2.8	238.445	1.9	95.7	—
10月末	11,219	2.9	234.697	0.3	81.0	—
11月末	11,572	6.2	243.325	4.0	95.0	—
12月末	11,363	4.3	238.699	2.0	91.0	—
2019年1月末	11,627	6.7	244.961	4.7	91.7	—
2月末	11,860	8.8	249.788	6.7	95.7	—
3月末	11,742	7.7	246.346	5.3	90.3	—
4月末	11,789	8.2	247.725	5.8	92.8	—
5月末	11,536	5.9	244.971	4.7	96.1	—
6月末	11,996	10.1	251.640	7.5	95.8	—
7月末	12,277	12.7	256.714	9.7	82.9	—
(期 末) 2019年8月13日	11,726	7.6	244.435	4.4	88.6	—

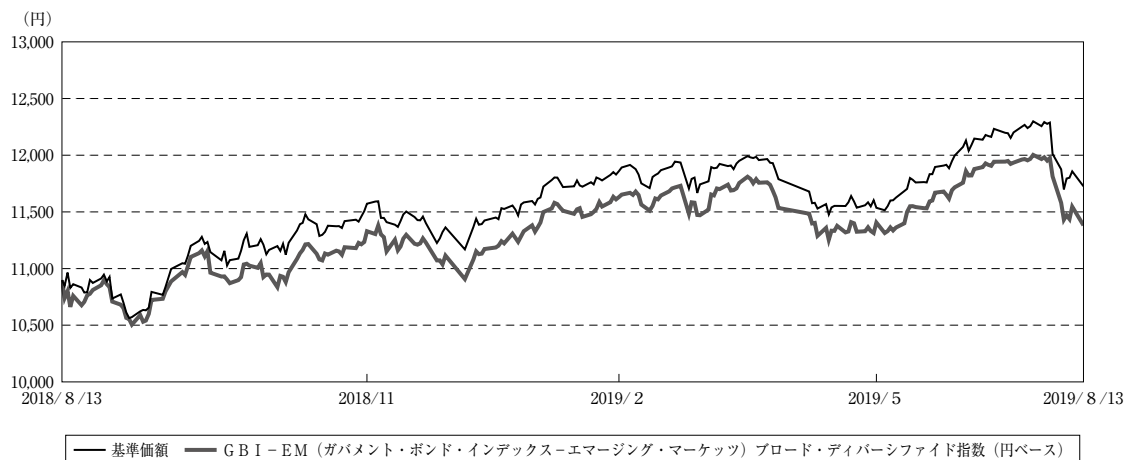
(注) 騰落率は期首比。

G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は、J.P.Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2018年8月14日～2019年8月13日)



(注) 参考指数は、G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) です。

(注) 参考指数は、期首 (2018年8月13日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

## (主なプラス要因)

- ・現地通貨建て新興国国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。また、ブラジルやトルコなど多くの投資国において、保有債券の利回りが低下し価格が上昇したこと。
- ・トルコリラが対円で上昇したこと。

## (主なマイナス要因)

- ・ポーランドズロチや南アフリカランドなど投資しているほとんどの通貨が対円で下落したこと。

**投資環境**

(2018年8月14日～2019年8月13日)

**<新興国の国債市場>**

米国の長期債利回りの上昇等を背景に、新興国からの投資資金の流出懸念が高まり、多くの投資国で国債利回りが上昇（価格は下落）してスタートしました。しかし、グローバル経済の減速懸念が徐々に強まったことに加え、米中の貿易摩擦の激化等を背景に、米連邦準備制度理事会（F R B）が利下げに踏み切るなど、先進国の主要銀行の金融緩和姿勢が鮮明となったことを受けて、先進国の国債利回り低下とともに新興国の国債利回りが大幅に低下（価格は上昇）する展開となりました。また、多くの新興国において利下げが実施されたことも、新興国の国債利回り低下を後押しする要因となりました。

**<為替市場>**

新興国通貨は、F R Bなど先進国の主要中央銀行の金融政策、米中の通商協議の動向、世界的な株価動向、新興国各国の個別リスク等を睨んで、対円で方向感なく上下する展開が続きました。しかし、期末にかけては、米中の貿易摩擦の激化や中国人民元が対ドルで11年ぶりの安値をつけたことなどを受けて、新興国からの投資資金の流出懸念が高まり、新興国通貨が対円で急落しました。この結果、当期間において、投資していた11通貨のうち、南アフリカランドなど9通貨が対円で下落する一方、トルコリラが対円で上昇、ロシアルーブルは対円で変わらずとなりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2018年8月14日～2019年8月13日)

J Pモルガン社のG B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（G D P）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国及び投資通貨を選定しました。当期間においては、中国国債を新規に組み入れるとともに、11カ国、11通貨（日本及び円は除いています）に投資を行いました（インドへの投資はクレジット・リンク・ノート（C L N）\*を通じて行いました）。当期間における新興国の国債及び通貨の組入れは、投資環境に応じて、機動的に変化させました。具体的には、2018年10月末から11月初めと2019年8月上旬に、新興国国債の投資比率を一時的に80%前後に引き下げました。また、2019年5月末から6月上旬にかけては、メキシコペソに対する為替ヘッジを行いました。この結果、期末時点の外貨の投資比率は90.2%、投資国上位は、メキシコ、インドネシア、ブラジル、ロシアとなっています。前期末との比較では、中国、ロシアなどの投資比率が上昇する一方、インド、南アフリカなどの投資比率が低下しました。また、ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、期末時点で4.00年となり、前期末と比較し長期化となりました。

\*クレジット・リンク・ノート（C L N）は、現地通貨建ての新興国国債または新興国の政府機関債にパフォーマンスが概ね連動する債券です。クレジット・リンク・ノート（C L N）は、米ドル建てで発行されていますが、ファンドに与える実質的な影響を考慮し、連動先債券の国および通貨の情報に基づいて前述の分類を行っています。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2018年8月14日～2019年8月13日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJ Pモルガン社の「G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）」の騰落率を3.2%上回りました。

## 今後の運用方針

### (投資環境の見通し)

先進国の国債市場では、グローバル経済の減速基調が続く中、米中の貿易摩擦の長期化が懸念されることや、主要中央銀行が金融緩和姿勢を鮮明にしていることから、低金利環境が継続する展開を想定しています。このため、新興国の国債市場には、今後も先進国国債と比較し相対的に高い利回りを求める投資資金が流入しやすいと見ています。また、多くの新興国においては、インフレ率が総じて抑制される中で、中央銀行が金融緩和姿勢に転じていることから、引き続き中長期的な利回り低下余地が残ると判断しています。

為替市場では、米中の貿易摩擦や中国人民元安に対する警戒感等を背景に、今後も新興国通貨が対円で軟調に推移する場面があると見ています。一方、先進国の主要中央銀行が金融緩和姿勢を鮮明にしていることや、先進国における国債利回りの大幅低下を受けて、新興国国債の利回り面での投資妙味が高まっていることは、引き続き新興国通貨のサポート要因になると考えています。また、トランプ米大統領がドル高に対する強い不満を重ねて表明しており、米政権が具体的なドル安戦略を講じた場合には、中国人民元の対ドルでの反発等を通じて、新興国通貨の上昇につながる可能性があると考えています。

### (運用方針)

新興国の国債及び通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。



○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年8月14日～2019年8月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	15 ( 8 )	0.131 (0.065)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他1は、中国の債券取引に係る費用 その他2は、クレジット・リンク・ノートの発行体に関する年間手数料等
(そ の 他 1)	( 0 )	(0.001)	
(そ の 他 2)	( 8 )	(0.065)	
合 計	15	0.131	
期中の平均基準価額は、11,576円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2018年8月14日～2019年8月13日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	社債券（投資法人債券を含む） 千米ドル —	千米ドル 3,360
	メキシコ	国債証券 千メキシコペソ 244,017	千メキシコペソ 217,428
	ブラジル	国債証券 千ブラジルレアル 17,759	千ブラジルレアル 29,468
	トルコ	国債証券 千トルコリラ 27,065	千トルコリラ 19,850 ( 3,000)
	ポーランド	国債証券 千ポーランドズロチ 35,690	千ポーランドズロチ 46,772
	ロシア	国債証券 千ロシアルーブル 403,321	千ロシアルーブル 215,650 ( 70,000)
	マレーシア	国債証券 千マレーシアリングgit 17,020	千マレーシアリングgit 9,040
	インドネシア	国債証券 千インドネシアルピア 29,664,000	千インドネシアルピア 23,200,000
	国	南アフリカ	国債証券 千南アフリカランド 85,704
中国オフショア		国債証券 千オフショア元 30,136	千オフショア元 10,080

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( ) 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) アメリカの社債券として表示されているのは、全て現地通貨建ての新興国債にパフォーマンスが連動するクレジット・リンク・ノートです。

○利害関係人との取引状況等

(2018年8月14日～2019年8月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年8月13日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額	5 年 以 上			2 年 以 上	2 年 未 満	
ア メ リ カ (クレジット・リンク・ノート)	千米ドル 3,350	千米ドル 3,483	千円 367,259	% 5.9	% —	% —	% 5.9	% —
メ キ シ コ	千メキシコペソ 152,000	千メキシコペソ 162,415	873,795	14.0	—	14.0	—	—
ブ ラ ジ ル	千ブラジルリアル 19,000	千ブラジルリアル 22,234	588,098	9.4	9.4	9.4	—	—
ペ ル ー	千ペルーソル 15,000	千ペルーソル 15,795	492,181	7.9	—	—	—	7.9
ト ル コ	千トルコリラ 24,000	千トルコリラ 20,361	386,257	6.2	6.2	2.5	3.7	—
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 14,000	千ポーランドズロチ 15,288	417,217	6.7	—	—	6.7	—
ロ シ ア	千ロシアルーブル 298,000	千ロシアルーブル 311,744	501,908	8.0	—	6.5	1.5	—
マ レ ー シ ア	千マレーシアリンギット 17,000	千マレーシアリンギット 17,273	434,264	6.9	—	4.9	2.0	—
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシアルピア 103,000,000	千インドネシアルピア 109,269,190	808,592	12.9	—	6.7	—	6.2
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 48,000	千南アフリカランド 53,244	367,383	5.9	—	5.9	—	—
中 国 オ フ シ ョ ア	千オフショア元 20,000	千オフショア元 20,232	300,448	4.8	—	2.4	2.4	—
合 計	—	—	5,537,407	88.6	15.6	52.2	22.3	14.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社よりデータを入手しています。

新興国国債マザーファンド

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当期			償還年月日
			額面金額	評価額	未償還額	
			千米ドル	千米ドル	千円	
アメリカ(クレジット・リンク・ノート)		%				
	普通社債券 (含む投資法人債券) CS INT(INRCLN) 8.4 2407A	—	3,350	3,483	367,259	2024/7/31
小計					367,259	
メキシコ			千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券 MEXICAN BONOS 10	10.0	57,000	64,228	345,550	2024/12/5
	MEXICAN BONOS 7.5	7.5	21,000	21,407	115,171	2027/6/3
	MEXICAN BONOS 7.75	7.75	74,000	76,779	413,073	2031/5/29
小計					873,795	
ブラジル			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
	国債証券 BRAZIL NTN-F 10	10.0	6,000	6,895	182,378	2025/1/1
	BRAZIL NTN-F 10	10.0	9,000	10,562	279,380	2027/1/1
	BRAZIL NTN-F 10	10.0	4,000	4,776	126,340	2029/1/1
小計					588,098	
ペルー			千ペルーソル	千ペルーソル		
	国債証券 REPUBLIC OF PERU 7.84	7.84	15,000	15,795	492,181	2020/8/12
小計					492,181	
トルコ			千トルコリラ	千トルコリラ		
	国債証券 TURKEY GOVT BOND 10.4	10.4	6,000	5,117	97,075	2024/3/20
	TURKEY GOVT BOND 10.5	10.5	10,000	8,117	153,983	2027/8/11
	TURKEY GOVT BOND 9.5	9.5	8,000	7,126	135,198	2022/1/12
小計					386,257	
ポーランド			千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券 POLAND GOVT BOND 4	4.0	14,000	15,288	417,217	2023/10/25
小計					417,217	
ロシア			千ロシアルーブル	千ロシアルーブル		
	国債証券 RUSSIA-OFZ 7	7.0	60,000	60,069	96,711	2023/1/25
	RUSSIA-OFZ 8.15	8.15	238,000	251,675	405,197	2027/2/3
小計					501,908	
マレーシア			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券 MALAYSIA GOVT 3.733	3.733	12,000	12,188	306,407	2028/6/15
	MALAYSIA GOVT 3.882	3.882	5,000	5,085	127,857	2022/3/10
小計					434,264	
インドネシア			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
	国債証券 INDONESIA GOV' T 10	10.0	15,000,000	16,813,350	124,418	2024/9/15
	INDONESIA GOV' T 11	11.0	50,000,000	52,770,000	390,498	2020/11/15
	INDONESIA GOV' T 8.25	8.25	24,000,000	24,870,480	184,041	2036/5/15
	INDONESIA GOV' T 8.375	8.375	14,000,000	14,815,360	109,633	2026/9/15
小計					808,592	
南アフリカ			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
	国債証券 REP SOUTH AFRICA 10.5	10.5	48,000	53,244	367,383	2026/12/21
小計					367,383	
中国オフショア			千オフショア元	千オフショア元		
	国債証券 CHINA GOVT BOND 3.17	3.17	10,000	10,094	149,903	2021/10/11
	CHINA GOVT BOND 3.25	3.25	10,000	10,137	150,544	2028/11/22
小計					300,448	
合計					5,537,407	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 米ドル建ての債券は、全て現地通貨建ての新興国国債にパフォーマンスが概ね連動するクレジット・リンク・ノートです。銘柄名に(INRCLN)とあるものはインドの現地通貨建ての国債に連動する債券です。

(注) クレジット・リンク・ノートの利率は、連動先債券の通貨とドルとの為替レートの影響を受け変動しますので、「—」と表示しております。

(注) クレジット・リンク・ノート(CLN)は、連動先債券の信用リスクに加え、発行体である金融機関の信用リスクも負っています。当期末現在の発行体は、Credit Suisse Internationalです。

## ○投資信託財産の構成

(2019年8月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 5,537,407	% 81.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,244,559	18.4
投 資 信 託 財 産 総 額	6,781,966	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(5,446,331千円)の投資信託財産総額(6,781,966千円)に対する比率は80.3%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=105.43円、1メキシコペソ=5.38円、1ブラジルレアル=26.45円、1ペルーソル=31.16円、1トルコリラ=18.97円、1ポーランドズロチ=27.29円、1ロシアルーブル=1.61円、1マレーシアリングギット=25.14円、1インドネシアルピア=0.0074円、1南アフリカランド=6.90円、1オフショア元=14.85円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年8月13日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,976,912,559 円
コール・ローン等	1,150,273,952
公社債(評価額)	5,537,407,353
未収入金	194,946,332
未収利息	80,407,180
前払費用	13,877,742
(B) 負債	725,772,200
未払金	725,769,124
未払利息	651
その他未払費用	2,425
(C) 純資産総額(A-B)	6,251,140,359
元本	5,330,918,492
次期繰越損益金	920,221,867
(D) 受益権総口数	5,330,918,492口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,726円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.1726円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は6,507,060,844円、期中追加設定元本額は4,839,943円、期中一部解約元本額は1,180,982,295円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

新興国債オープン(毎月決算型)愛称:アトラス(毎月決算型)  
4,889,488,994円  
新興国債オープン(1年決算型)愛称:アトラス(1年決算型)  
441,429,498円

## ○損益の状況 (2018年8月14日~2019年8月13日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	448,549,033 円
受取利息	448,815,077
支払利息	△ 266,044
(B) 有価証券売買損益	79,434,170
売買益	501,126,890
売買損	△421,692,720
(C) その他費用等	△ 8,885,490
(D) 当期損益金(A+B+C)	519,097,713
(E) 前期繰越損益金	584,181,802
(F) 追加信託差損益金	860,057
(G) 解約差損益金	△183,917,705
(H) 計(D+E+F+G)	920,221,867
次期繰越損益金(H)	920,221,867

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## <お知らせ>

・金融商品取引業等に関する内閣府令等の改正に伴い信用リスクを適正に管理するために投資信託約款に所要の整備を行うとともに、本文の一部の参照条項について所要の変更を行いました。(実施日:2019年5月9日)